

グリーン四国

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30

TEL 088-821-2000

FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

電子メール shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp



四国山の日

No.1093 2011年4月号

森林浴に最適 「森の巨人」猪伏の大トチ

今年、国連が定める「国際森林年」で、日本のテーマは「森を歩く」です、皆様、森林浴を兼ねて「森の巨人たち100選」(林野庁)の一つ、「猪伏の大トチ」に会いに行きましょう。(場所：愛媛県久万高原町猪伏山国有林内) 【詳細は2頁】



「猪伏の大トチ」



遊歩道



2011・国際森林年



連絡会議（3月2日）

近年、急激に生息数が増加し、森林や自然植生に被害を及ぼしているニホンジカの対策等について徳島・高知両県境の剣山・三嶺地域における関係機関が連絡・調整する連絡会議を三月二日に四国森林管理局で

開催しました。会議には、徳島・高知両県、関係市町村の担当者、環境省中国四国地方環境事務所、高知大学、森林総合研究所四国支所などの研究者の両県の自然保護団体の代表者など二四名と森林管理局、関係森林管理署の担当者が出席し、平成二二年度の対策の概要と平成二二年度の対策案を報告していただきました。「三嶺の森をまもるみんなの会」の坂本副代表からは、平成二〇年度から香美市において実施されてきた個体数調整による捕獲数の推移につ



永石さん、宮原局長、中岸さん

いて報告され、効果的に個体数を減少させるにはメスを捕獲することであり、当初はメスの捕獲数が多かったが、今年度はメスの捕獲数が減る傾向にあり、ハンターからもニホンジカの目撃数も減っているとの情報もあることから、個体数を減少させる上で捕獲が一部地域では、有効であったとの報告がありました。また、事務局である森林管理局から、四国全体のニホンジカの生息密度について、関係機関の調査結果をとりまとめたマップを示し、県境をまたいで生息している個体群の対策などが必要であること、香川、愛媛両県を含めた連携を強化することについて提案しました。

剣山・三嶺地域での取組のみならず、四国全体でのシカ対策の推進について、関係者が認識を深めました。

野生鳥獣との共存に向けた連絡会議開催
 剣山・三嶺地域のシカ対策で関係機関
 〈指導普及課〉



入庁式

〈総務課〉



四月一日、平成二二年度新規採用者二名の入庁式が行われました。

宮原局長より辞令が手渡され、入庁者を代表して、永石さん（安芸署）が宣誓を行いました。

その後、局長から、「学生時代には、色々なことを学ばれたことだと思いますが、本日から、社会人として、公務員として、自分で考え、判断が下せるよう日頃より勉強（学習）してください。自分が何をすべきかは、自分で決めなくてはなりません。これからが、本当の意味での勉強（学習）です。

業務を行う場合にも、先人の業務のやり方等を踏襲するだけではなく、いかにすれば効率よく業務を遂行できるのか常に考えて業務を実行してください。」との訓示を受け、気持ちも新たに公務員としての第一歩をスタートさせました。

森林浴のおすすめスポット

「森の巨人」
 いぶせ おお
 猪伏の大トチで森林浴を



〔総務課〕

愛媛森林管理署管内、愛媛県上^{かみ}浮^{うけ}穴^{なぐん}郡久万高原町猪伏山国有林内の「森の巨人」猪伏の大トチを訪ねました。

(高知ルート)

高知市から高知自動車道で須崎市へ、須崎中央ICで降りて、国道一九七号線で津野町方面へ、津野町高野で、公団基幹林道東津野城川線には入り北上し、国民宿舎天狗荘から姫鶴平^{めづるたいら}へ向かい、姫鶴荘手前で右折して突き当たりの遊歩道入口(公衆トイレ)に至ります。所要時間は、約二時間三〇分です。



四国カルスト・五段高原

(愛媛ルート)

松山市から、国道三三三線を久万高原町へ、久万高原町柳井川の柳谷大橋交差点から、国道四四〇号線で地芳峠、天狗高原方面へ、地芳峠から県道三八三号線で姫鶴平へ向かい姫鶴荘を

少し過ぎて左折して突き当たりの遊歩道入口(公衆トイレ)に至ります。所要時間は、約二時間三〇分です。



白亜の湧き水



林内の遊歩道(ベンチ有り)

そこから、遊歩道には入り、ツガ、モミ、サワグルミ、センノキ、サルスベリ等の木々が迎えてくれ、遊歩道の中頃に「白亜の湧き水」と呼ばれる水のみ場もあります。

周囲を観察しながら約四〇分ぐらい歩くと、ひとさわ勇壮な「森の巨人」猪伏の大トチに出会えます。この巨木を見ると、今までの疲れも吹っ飛んで、心も体



猪伏の大トチ(幹廻り)

もりフレッシュした気分になると思います。今年、国際森林年です。「森を歩き」森の巨人たちに会いに行きましょう。



各地のたより



あることを改めて実感しました。

下山後は四万十源流センター「せいらの里」に移動して、「森林の働き」や

「樹木学習」を行いました。予め児童達は、高知県の

浦喜ヶ峰森林公園等で森林について事前に学習して

ため、スムーズに学習できました。

今回の学習を通して、「森林の大切さや森からの恵み

について」十分に理解して頂いたのではないかと考え

ます。

屋島クリーン大作戦

〈香川森林管理事務所〉

三月六日、高松市屋島地区において、「屋島クリーン大作戦」が行われました。

これは、屋島地区では海岸線を中心にごみの不法

投棄が後を絶たないため、

平成一四年から毎年この時期に、地域住民や企業のボランティア等による大がかりなクリーン作戦を実施しているもので、今回で十

回目となります。

当日は、約一七〇〇人が参加し、県道及び市道の沿線、浦生海岸、長崎の鼻等

に分かれて、約一時間半の清掃活動を行い、約九トン

ものごみを回収しました。

当所においても、屋島地区の県道及び市道の沿線は、

大部分が国有林（屋島国有林）であることから、毎年

参加しております。

県道及び市道を歩きなが



長崎の鼻（国有林）及び同海岸付近での清掃活動の様子

四万十川の源流点で 森林教室

〈ふれあいセンター〉

に四万十川の源流点を訪ね「森林の働きや森からの恵み」について森林教室を実施しました。

当日は、歩道沿いの樹木を観察しながら四万十川の源流点を目指しました。

源流点では四万十川にまつわる話題として、川の長さ、名前の由来等について説明しました。児童達は、

四万十川の源流点を目の当たりにして、

また、実際に現地の自然や水に触れ、こ

こが源流点で



樹木説明中

